



# 広島城東大絵図

## 広島城東今昔物語

普段なげなく通っている場所も、城下町であった時代は、今とは別の表情がありました。当時の様子を想像して通るのも楽しいかもしれません。広島城下東部の史跡を訪ねましょう。

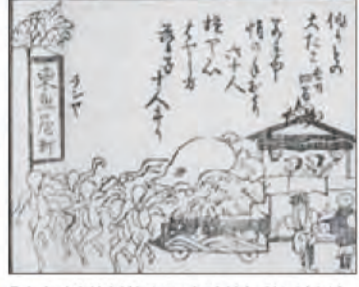
広島に城下建設を思い立った中国の覇者毛利輝元は、天正17年(1589)に鉄初めを行い、同19年(1591)に112万石を領し入城しました。文禄3年(1594)に安国寺惠瓊は新安国寺を、輝元は白神社社殿を建立し城下南辺の要所を固めました。出雲国から招いた平田屋惣右衛門や、家臣二宮就辰らによる城下縄張の整備により、西堂川や平田屋川が新たに開削されました。

関ヶ原の戦いの後の慶長5年(1600)に入城した福島正則は、元和3年(1615)の大洪水に際し、城下護岸の修復と城郭の掘削の整備を行いました。西国街道を白鳥南部の松原通りから、現在の本通の位置に移しました。その際に京橋川から本川の城内を城下と定め、東西の対岸の高さを半間(1m弱)低くさせ、洪水調整を行い、白鳥の護岸に宝剣八幡を治め八剣神社を勧請しました。

元和5年(1619)紀伊国から入城した浅野長晟は、寛永10年(1633)の西国街道の整備にともない、正則時代に築かれた我羅我羅橋から猿猴橋や京橋に至り、愛宕町界隈に広島城下東部を敷け、参勤交代を可能とし伝馬60匹を置きました。御茶屋を岩鼻の地に移し、矢賀には一里塚が置かれました。

寛文6年(1666)には広島東照宮で徳川家康の慰霊のため、50年毎に通る御祭礼が挙行され、比治山の黄幡社(現比治山神社)や仁保町の遷延神社などの多くの神社が庶民の信仰を集めました。元禄12年(1699)には城下の川口6ヶ所に川口番所を新設し、一躍物流が発達し大坂以西最大の賑わいをみせたのです。宝暦7年(1757)には新聞奉行および新聞方本締改所を敷け、広大な新聞地が城下東部に造営され、幕末に至るまでに島嶼の比治山や仁保島(現黄金山)は陸続きとなりました。それとともに干潟や遠浅を利用して、塩田を始め牡蠣や海苔の養殖場ができました。

安政年間(1854~60)には城下の船荷が瀬戸内海的主要港への定期船を開始し、本川を始め東部の京橋川や猿猴川には海川を伝い多くの舟船が集まりました。河川に堆積した土砂の浸濘も享保18年(1733)に窮民救済のためのほりさらえが行われ、文久2年(1862)には城下の町衆により「本川川さらえ砂持加勢」が賑やかに開かれました。



「広島本川さらえ町中砂持加勢」より  
東照宮  
広島市立中央図書館蔵、広島城提供

## 東部の地名あれこれ

今は消え去った昔の地名は、その時代にいきいきと暮らす人々の様子が目に浮かぶようです。母なる太田川や支流をのぞみ、江戸時代には城下町と東部の村々が所在していました。

### 城下東部の町村と新聞

広島城下から東行する西国街道に沿い新聞組の各町や、京橋川や猿猴橋を臨み新聞組の各村が置かれました。江戸時代に急激に人口増加が発生し、城下の人々は新聞組に支えられました。

#### 新聞組

京橋町・新愛宕町・東柳町・稻荷町西組・稻荷町下組・稻荷町中組・稻荷町東組・猿猴橋町

#### 新聞組

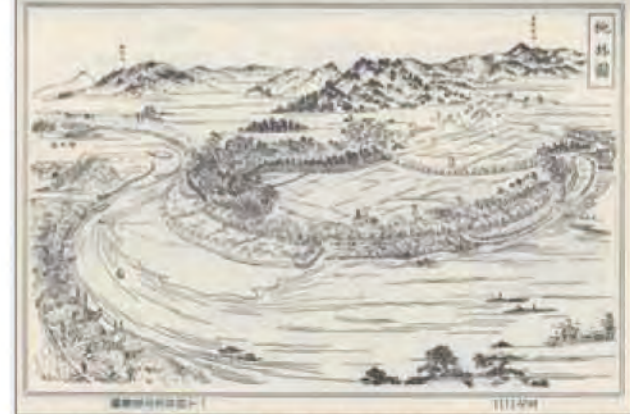
町方：西愛宕町・東愛宕町・荒神町・臺屋(ダイウケ)町・金屋町  
村方：段原村・比治村・大黒村・矢賀村・尾長村・古川村・大須賀村・十軒屋

#### 安芸郡

村方：矢賀村・中山村・温品村・府中村  
島嶼：仁保島  
七浦：本浦・洲崎・大河・丹那・橋那・日字那・向(洋)津  
附島：鏡輪島(金輪島)・宇品島(元宇品)・似島・多扶計島(俣島)・彌玖摩島(弁天島)・小弁天島

#### 新聞地

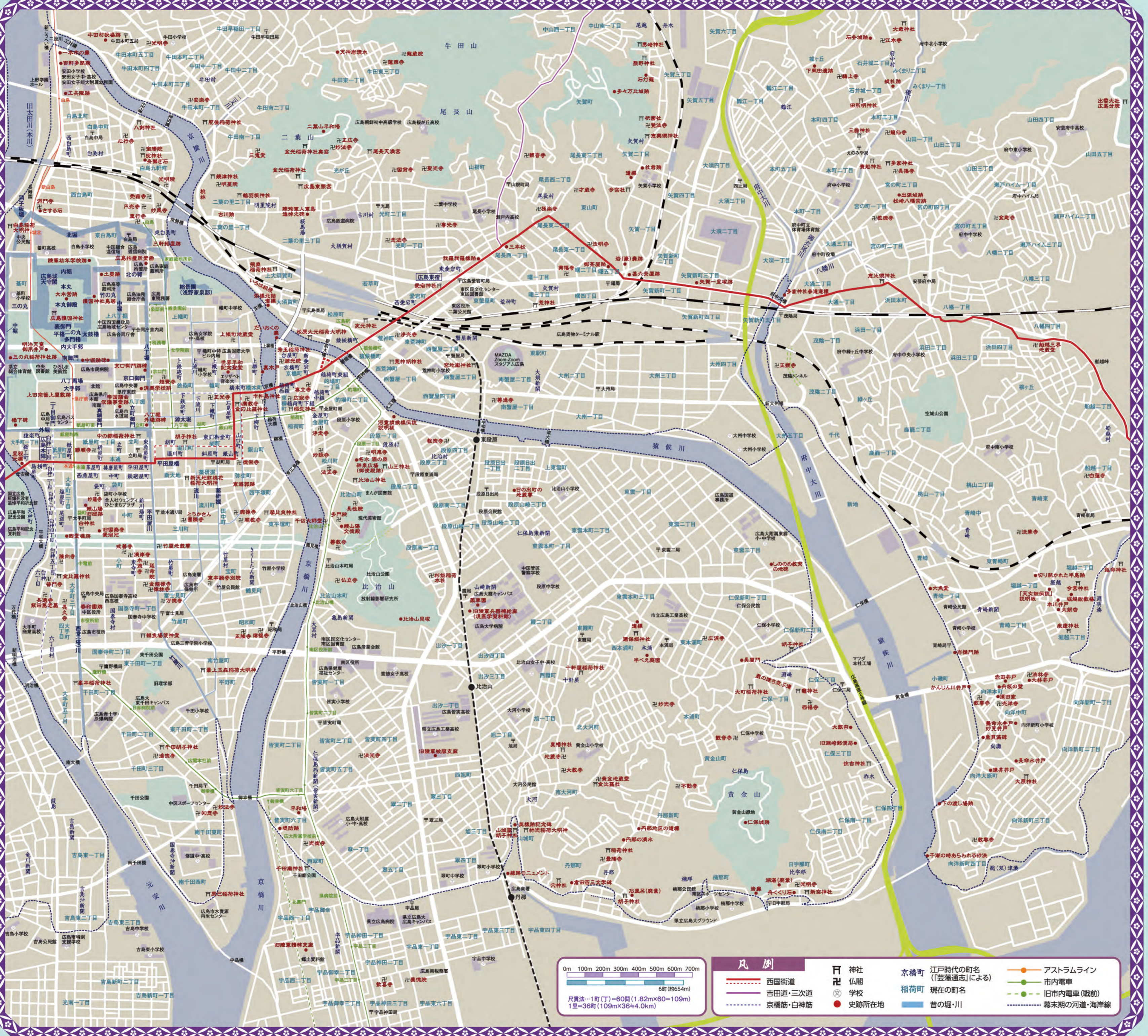
山崎新聞・大須新聞・蟹屋新聞・大國新聞・東新聞・西新聞・亀島新聞・段原新聞・大須賀新聞・明星新聞



錦景園から広島城東部を眺望「芸藩通志」より林園 国書刊行会提供

## 新聞地の樋門の種類

南蛮樋・唐樋・石樋・石垣樋・用水樋・水抜樋・出潮(汐)樋



## 郡名の変遷

佐伯(さき)	安芸(あき)	平安初期
佐伯(さき)	安北(あほく)	平安末期
佐伯(さき)	沼田(ぬまた)	貞永4年(1193)
佐伯(さき)	安佐(あさ)	明治31年(1898)
佐伯(さき)	広島市に合併	昭和48年(1973)

## 広島城歴代城主

- 1 毛利輝元 1591~1600
  - 2 福島正則 1600~1619
  - 3 浅野長晟 1619~1632
  - 4 浅野光晟 1632~1672
  - 5 浅野綱晟 1673~1673
  - 6 浅野綱長 1673~1708
  - 7 浅野吉長 1708~1752
  - 8 浅野宗恒 1752~1763
  - 9 浅野重晟 1763~1799
  - 10 浅野奇賢 1799~1830
  - 11 浅野奇肅 1831~1858
  - 12 浅野慶城 1858~1858
  - 13 浅野長訓 1858~1869
  - 14 浅野長勲 1869~1869
- 城主名：○藩主代數  
数値は治世期間